

たんぽぽ薬局だより

■発行所／たんぽぽ薬局
〒869-1102 菊池郡菊陽町原水5587-4
■TEL096(340)2121 FAX096(340)2123
■発行責任者／平田 彰子
■HPアドレス／http://www.kk-pharma.jp/

2012
No.37



新春号



あけましておめでとうございます

昨年3月11日未曾有の東日本大震災が起き、自然の脅威の凄まじさを見せつけられました。被災された方々にお見舞いを申し上げますと共に亡くなられた方々に、心から哀悼の意を表します。さらに追い討ちをかけるように、福島原子力発電の放射能漏れ事故が起きました。まだまだ完全な復興は程遠い状況です。東北、福島の被災者の方々が一日も早く安心して暮らせる被害対策が立てられる事を願います。震災直後の3月と4月に、私共の職員の薬剤師2名が、被災した宮城県民医連の薬局に支援に行きました。その後も支援の薬品を送ったり義捐金を集めたりして、微力ながら復興に向けたお手伝いをして参りましたが、今後も、様々な形で復興の支援にかかわっていききたいと思っております。

さて、今回の福島の原子力発電の事故が起きて初めて原発がどんなに危険なのか良く分かりました。「原子力の平和利用」という安全神話に知らず知らずのうちに自分が洗脳されていたのです。日本にいつのまにか54基の原発が出来ていた事を「知らなかったでは済まされない」という現実打ちのめされた気がします。核兵器と原発は一体のもので、どちらも人類とは共存できないと知りました。

ドイツ政府は昨年の6月に原子力からの撤退を決定しました。その背景には子どもを持つ女性たちが中心となった反原発の粘り強い闘いがありました。1986年のチェルノブイリ原発の事故以降新しくできた女性団体を中心に食品の放射能測定をし、原発周辺の子供たちに白血病が多いことを告発し、福島の事故以降は毎週月曜日に反原発の集会を開きました。また20の都市で「原子力からの即時撤退」を求める大規模なデモが行われ25万人が集いました。参加者の多くは子どもを持つ女性たちだったそうです。

これから日本も被災地の瓦礫処理問題や放射能による健康被害の追跡調査など解決しなければいけない課題が山積しています。私たち一人一人が自分自身の事と捉えて取り組んでいかなければならないと思います。日本も早くドイツのように原子力からの撤退を実現したいものです。国民の合意を作っていくのは簡単ではありませんが、「子どもたちに安心して暮らせる未来を残すために」きっとその事では、日本国民が一つになれるのではないのでしょうか。

今年は、健康共同ファルマが、創立20周年を迎えます。これも、ひとえにご利用頂いている皆様のおかげでございます。そして初めての薬学部6年制の新卒業薬剤師を迎えます。

新しい仲間と一緒に、いっそう努力してご期待に応えられる薬局活動を模索してまいります。本年もよろしくお願いいたします。



代表取締役
鳴海 真弓

お薬シリーズ その8 脱水症状と経口補水液

冬に脱水症状？

夏の暑い時期、熱射病による脱水症状にはとても気をつけていましたが、冬にも脱水症状を引き起こす危険は潜んでいます。原因は冬場等に起こりやすい「嘔吐下痢症」。これらは、ロタウイルス、アデノウイルス、ノロウイルスが原因です。ひどい下痢や発熱、嘔吐で体から水分と一緒にナトリウムやカリウム・マグネシウムなどの電解質が失われ脱水症状が起こります。そんな時には経口補水液が適しています。小さな子供や高齢者では特に気をつけたいといけません。

経口補水液って、スポーツドリンクの事？

いいえ、日常やスポーツの喉の渇きにはスポーツ飲料が適していますが、病的な脱水症状の時は補水液が望ましいです。経口補水液は電解質が多いので少ししょっぱく感じます。スポーツ飲料は電解質が少なく糖分が多くなっており、その分飲みやすさはあります。心臓や腎臓の悪い方は特に注意が必要です。



スポーツドリンクはケーキ1個分！

スポーツドリンクは糖分が多く脱水時の水分補給には向きません。なんと、その糖分は約ショートケーキ1個分にも！また塩分量も少ないので脱水などによって失われた塩分を十分に補えません。経口補水液(OS-1・アクアライトORSなど)が適しています。



あけましておめでとうございます

今年もよろしくお願いいたします たんぽぽ薬局職員一同



新入職員紹介

11月から薬剤師として勤務しています。ひまわり薬局 網脇 智織です。



趣味は映画鑑賞です。特にパイレーツオブカリビアンが好きです。よろしくお願いいたします。

2011年日本平和大会 in 沖縄に参加して

11月25日～27日の3日間、平和大会に参加してきました。現在、注目を集めている住宅地に囲まれた普天間米軍基地や第二次世界大戦時の戦跡など多くものを見ることができました。その中で人を殺めてしまう戦争、それを可能する基地も放棄すべきと強く感じました。やはり、人は不安より安心を、喪失より誕生を希求すると思います。ごくごく自然に願いだとは思いますが、そのためにも基地や兵器よりも、教育や医療・福祉などを充実させた日本であってほしいと思いました。



ACCESS MAP



福祉用具貸与事業所ひまわり

私たちは、利用者様の「介護幸せ達人です！」

福祉用具貸与事業所の仕事は、自宅で介護が必要になった方の住環境と一緒に考えることです。お客様にとって身近な事業所になれるよう、日々努力しています。2012年もよろしくお願いいたします。

福祉用具販売、レンタル、住宅改修工事等何でもご相談下さい。

(株)健康共同ファルマ 福祉用具貸与事業所 ひまわり

熊本市神水1-21-16 電話(096-387-5211) FAX(096-387-5323) Eメール:okamoto@kk-pharma.jp 岡本 修

開局時間

曜日	時間
平日	午前9時～午後5時30分
土曜日	午前9時～午後0時30分

携帯で簡単登録！住所や電話番号の情報が載っているQRコードです。

